

学習指導案の形式（例） 小学校特別活動

学級活動（１）「学級や学校における生活づくりへの参画」

第○学年○組 学級活動(1)指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 議題 「○○○○○○○○○○○○○○○○」（例：○○をしよう）

◇事前、本時、事後の一連の活動を指して議題とする。児童にとって分かりやすい文言にする。

2 児童の実態と議題について
 (1) 児童の実態

◇児童の学級生活における実態や、学級活動における実態、これまでの学級での取組等について書く。
 ◇当該学年の評価規準を踏まえた、話し合い活動における課題や目指す方向等について書く。

(2) 議題選定の理由

◇取り上げる議題の内容、今までに取り組んできたこととの関連、その議題を取り上げる意義、議題と児童との関係等を書く。
 ◇議題が選定された背景や、教師の指導観等について書く。

3 第○学年及び第○学年の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
例：～理解している。 ～身に付けている。	例：～実践している。	例：～集団活動に取り組もう としている。
◇評価の観点、学校の実態、学習指導要領の特別活動の目標を踏まえ、各学校で設定する。議題ごとに評価規準を設定するのではなく、各学校で設定した評価の観点に基づき、学級活動については、発達段階に即して、低・中・高学年ごとに評価規準を設定する。		

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
○月 ○日（○）	○例：～を作成する。 ～を書く。	○例：～することで、～で きるようにする。	【観点】（方法） ○例：～している。 ～しようとしている。
○月 ○日（○）	◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手だ てを書く。	◇事前・本時・事後の中で、 どのように評価規準が位 置付けられているかが分 かるように書く。

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
○月 ○日（○）	◇【計画委員会の活動】【学級全員の活動】を統合して記述することも考えられる。		
○月 ○日（○）			

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

例：～することができる。

◇児童の立場で書く。
◇本時の評価規準との整合を図る。

(2) 児童の活動計画

- ◇計画委員会の児童が作成した活動計画を指導案に添付する。低学年等、児童の作成が難しい場合には、教師が書くことも考えられる。
- ◇話し合いを進める際に気を付けること、予想される対立意見への対処方法、合意形成に向けた意見の整理の仕方等について、計画委員会で話し合せて書かしておく。

(3) 教師の指導計画

話し合いの順序	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1	○ ◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
2	○例：～することで、～できるようにする。 ◇話し合いの活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。 ・児童が主体的に学習を進めるための手だて ・児童が対話的に学習を進めるための手だて ・児童が学習を深めるための手だて ・児童一人一人の活動状況に応じた手だて 「～する児童に対しては、～について～することによって～できるようにする」等、具体的な指導・支援が分かるように書く。 ◇話し合いの活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。	◇本時のねらいと整合した評価規準を具体的に書く。「十分満足できる活動の状況」について、抽象的な文言ではなく、実際に評価可能なレベルまで具体化する。 ◇評価の場面は1、2箇所に絞る。 ○例：～している。 [評価の観点] (評価の方法) ◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・学級会ノートの記述 等
◇具体的に書く。 例えば 「始めの言葉」 「計画委員の紹介」 「議題の確認」 「提案理由の確認」 「決まっていることとの確認」 「話し合いのめあての確認」 「話し合い」 「決まったことの発表」 「話し合いの振り返り」 「先生の話」 「終わりの言葉」等 話し合いの順序が分かるように書く。		

◎「十分満足できる活動の状況」と判断する児童の姿 例：～している。

- ◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。

6 事後の活動

日時	児童の活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
○月 ○日 (○)	○例：～を掲示する。 ～の準備をする。	○例：～することで、～できるようにする。	[観点] (方法) ○例：～している。 ～しようとしている。
○月 ○日 (○)	◇児童の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。 準備物や具体的な手だてを書く。	◇事前・本時・事後の中で、どのように評価規準が位置付けられているかが分かるように書く。